

タイトル	平成28年度 推薦入試 教育学部（障害児教育 専攻） 小論文 および 面接
評価のポイント	<p>(小論文)</p> <p>特定の教科に限られない幅広い理解力・判断力・問題解決能力・表現力等を評価するために小論文試験を実施しています。</p> <p>評価に当たっては、津語の三点を特に重視します。</p> <ul style="list-style-type: none">①問題のテーマをよく理解したか。②問題のテーマに関連した基礎的な知識を持っているか。③記述に当たっての論理的な運びが正しく、論旨が明快であるか。 <p>問題 1</p> <p>渡辺弥生(2011)『子どもの「10 際の壁」とは何か？乗り越えるための発達心理学』(光文社)</p> <p>問題 2</p> <p>西日本新聞朝刊(2015 年 6 月 18 日)『「障害」か「障がい」か』 http://www.nishinippon.co.jp/feature/life_topics/article/176340</p> <p>(面接)</p> <p>将来、教員になるにあたっての資質を現段階において備えているかを判断するために面接試験を実施しています。面接者の質問に適切に対応できているか、障害児教育専攻に対する志望動機が明確か、基本的なコミュニケーションスキルや協調性を備えているか等から評価しています。</p>